

## 新規登録

区 分	殺虫殺菌剤
農 薬 名	ノンプラスダントツフロアブル
登 録 番 号	第 2 2 2 5 7 号
登 録 日	平成 20 年 9 月 24 日
< 有効成分 >	
クロチアニジン	6.6 %
トリシクラゾール	8.0 %
フェリムゾン	15.0 %

## 新規登録内容

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	8 倍	800mL/10a	収穫 21 日 前まで	2 回以内	空中散布 無人ヘリコプター による散布

クロチアニジン を含む農薬の総使用回数	トリシクラゾール を含む農薬の総使用回数	フェリムゾン を含む農薬の総使用回数
4 回以内 (育苗箱散布は 1 回以内、 本田では 3 回以内)	4 回以内 (育苗箱への処理は 1 回以 内、本田では 3 回以内)	2 回以内

## 使用上の注意事項

- ( 1 ) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- ( 2 ) 本剤は長期間貯蔵しておくとは分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出す。
- ( 3 ) 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。

- ( 4 ) 本剤を空中散布及び無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は次の注意を守る。  
 各散布機種 of 散布基準に従って実施する。  
 無人ヘリコプターによる散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用する。  
 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置に十分な点検を行う。  
 散布薬液の飛散によって動植物、特に野菜類の幼苗、なし（二十世紀、幸水、新水等）等の農作物の危被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意する。  
 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。  
 作業終了後は次の項目を守る。  
 a 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。  
 b 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- ( 5 ) 野菜類の幼苗及びなし（二十世紀、幸水、新水等）には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- ( 6 ) たばこ、けいとう及びだいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- ( 7 ) 蚕に対して影響があるので、桑に付着する恐れのある地域では使用しない。
- ( 8 ) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。  
 ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。  
 養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努める。
- ( 9 ) マルハナバチに影響を及ぼす恐れがあるので注意する。
- ( 10 ) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- ( 1 ) 誤飲などのないよう注意する。  
 誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。  
 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- ( 2 ) 薬液調製時及び無人ヘリコプターによる散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。  
 作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- ( 3 ) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。